

沼田市一般会計総額245億5,402万円

対前年度比5.6%減

沼田市の新年度予算総額は、391億9,592万8千円（前年度比3.3%減）で、一般会計の予算総額は、前年度比5.6%減の245億5,402万4千円です。

主な歳入では、市税は0.4%増の60億8,962万2千円、地方交付税は1.9%減の54億8,610万3千円、市債は18.1%減の44億4,259万6千円です。

主な歳出では、市役所が移転するテラス沼田の完成で、総務費が53.0%の減で26億1,580万7千円、民生費が4.9%増の63億8,671万7千円、学校給食センター建設・利南運動広場整備が含まれる教育費が65.9%増の53億3,508万2千円です。

新庁舎含むテラス沼田の管理事業費2億円超



完成間近のテラス沼田

テラス沼田の完成に伴って分散している市関連部署や民間施設・商業施設などの入居が予定されているビルの庁舎等複合施設管理事業費が、2億1,337万6千円の予算計上です。現在の市役所本庁舎・北庁舎の管理費は4,070万円ですから5倍以上になります。

安倍政権が計画している「幼児教育無償化」を先行実施

新年度予算で、沼田市は、安倍政権が消費税増税と引き換えに10月から実施すると公約している、3歳児以上の「教育・保育無償化」について、先取りして4月から実施する予算を計上しました。日本共産党市議団は、2歳以下児童や給食費などもすべて無償化するよう要求しています。

市議選へ必勝の決意・日本共産党

文化会館で新春のつどいを開催



2月9日、利根沼田文化会館で、沼田市議選・参議院選挙に向けて、日本共産党の躍進で「安倍政権」を退陣に追い込もうと、塩川哲也衆議院議員を迎えて利根沼田地区委員会「新春のつどい」を開催しました。

2月1日に第2次候補として市議選の公認を受けた井之川博幸沼田市議をはじめ、大東のぶゆき沼田市議が、沼田市政の問題点や安倍政権の暴走政治の防波堤となり、市民のくらしと福祉を守る沼田市をつくる施策を訴えるとともに、必勝の決意を述べるました。

伊藤たつや参議院選挙区予定候補は、1人区での野党統一候補の決定をめざして奮闘し、安倍政権を必ず倒そうと訴えました。

塩川哲也議員は、現在の国会情勢を報告し、ウソとごまかしで、多数の力で悪法を強行する「安倍政治」を鋭く糾弾し、「統計不正」などで、国民の信頼は全く失っており、「安倍首相」は追い込まれていることをわかりやすく解明しました。

2019年2月17日 No.914

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料